



# ごあんぜんに

Vol. 46

四 国 地 方 整 備 局  
港 湾 空 港 部 室  
工 事 安 全 推 進 室

R6. 2. 1

## 巻頭ご挨拶

日頃より、直轄工事の安全活動推進にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。  
 まず、令和6年能登半島地震におきまして、被害にあわれた皆様にご心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。  
 さて、国土交通省港湾局のまとめによる令和5年12月末における全国直轄工事事故発生状況は、昨年度を超える20件以上となり、休業1ヶ月以上の事故も頻発しております。  
 また、四国地方整備局管内での港湾空港直轄工事においては、平成14年2月より死亡事故ゼロを継続しているものの、令和5年4月以降で全治1ヶ月以上の労働災害が2件発生しております。このように工事事故が続発している状況を鑑み、再度、令和5年度 重点対策について周知しておりますので、尚のこと建設現場の安全確保対策を実施して頂くようお願いいたします。  
 更に、冬季は積雪・凍結による「転倒」「墜落・転落」「スリップ事故」など冬季特有の事故に応じ適切な対策が必要であり、受発注者間の連携で無理な施工とならないよう努めていただければと思います。  
 今回の強化期間のスローガンは「指差し・声出し・何度でも その安全確認ゴールまで」です。単純作業や繰返し作業の慣れ等で基本的な確認や手順がおろそかにならないよう、日々の作業において、常に初心を忘れず基本的な取組を確実に実施し、今年は無事故・無災害を達成しましょう。ご安全に!!  
 事業計画官 新見泰之

## 令和5年度 第2回 工事安全強化期間

(令和6年 2月1日 ~ 2月15日)

安全強化期間 スローガン

指差し・声出し・何度でも

その安全確認ゴールまで



四国地方整備局の港湾空港関係直轄工事においては、令和6年2月1日～2月15日を令和5年度第2回工事安全強化期間と定め、スローガン（標語）を用いたポスター掲示やワッペン着用、稼働中現場における安全パトロール等の取り組みを実施予定です。

今回のスローガンは、幅広い港湾空港関係職員から多数の応募がありました。その中から高松港湾・空港整備事務所の竹田さんの作品を採用させていただきました。ご多忙の中、応募いただいた方々にはありがとうございます。

## ○港湾・空港関係直轄工事（全国）における死傷災害発生状況

単位(人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
死亡者数	0	1	2	1	0
負傷者数 (1)	12 (1)	15	7	8 (1)	11 (1)
負傷者数 (2)	20 (3)	16 (2)	18 (1)	19	16 (2)
計	32 (4)	32 (2)	27 (1)	28 (1)	27 (3)

全国における合計件数。( ) : 四国における発生件数で内数。負傷者数 (1) …休業4日以上、負傷者数 (2) …休業4日未満  
 ※令和5年度はR5. 12. 末時点 出典 国土交通省港湾局技術企画課調べ

今年度、幸いにも死亡者は出ていませんが、例年と比べて負傷者数が多い傾向にあり、事故の型としては「はさまれ、巻き込まれ」と「墜落・転落」が最多となっています。また、四国管内においても、今年度は12月末時点で2件の事故が発生しています。

## ○直轄請負工事・業務の安全確保対策の強化

港湾空港関係直轄工事の事故防止については、ごあんげんにvol. 45で掲載した令和5年度重点対策により、日々、建設現場の安全対策の取り組みを進めていただいていることと存じます。しかしながら、昨今において、工事事故が頻発している状況にあり、また年度末に向け、新たな工事や工期末を迎える工事などで、現場が輻輳することを考慮すると、通常の安全確保の取組みを更に強化する必要があります。

このような状況を鑑み、下記とおり安全確保対策を実施して頂くようお願いします。

### ■安全パトロールの強化及び下請け企業への指導等の徹底

労働安全衛生法に規定する統括安全衛生責任者、元方安全衛生管理者、または店社安全衛生管理者による安全パトロールを強化するとともに、下請企業に対する工事安全面の指導・援助等の徹底をよろしくお願いします。

### ■現場作業員の健康管理の徹底

気温の低下、降雪等現場環境が厳しくなる事を踏まえ、現場作業員に対する作業前健康確認等を行うなど、健康管理には十分ご留意願います。

## ○港湾空港関係における事故事例

港湾空港関係における事故事例（R5. 11発生）を紹介します。この事故事例を参考に、現場の安全について、再確認をお願いします。

### <事故事例>

#### ■事故起因作業

ケーソン撤去（玉掛作業中）

#### ■被災経緯

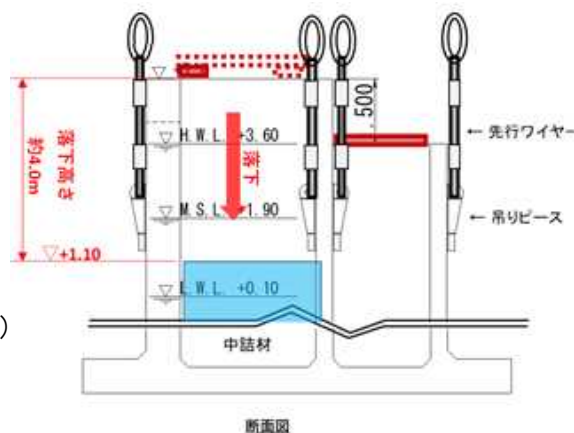
ケーソン撤去作業に伴う先行ワイヤー取付け作業中、作業用足場が落下した。落下した作業員5名の内、2名が負傷。

（①左脛骨近位部骨折、休業0日、全治約2ヶ月）

（②背中に筋肉痛のような違和感、休業0日、診察異常なし）

#### ■事故要因 と 防止対策

- ・ケーソンに取付けた先行ワイヤーの連結作業中に、作業床の最大荷重（1枚当たり、3人）を越えて5人の作業員が乗ったため、作業床が折れて脱落した。



- ①作業床を、ケーソン形状に応じた**全覆工一体型**として製作し安全を確保する。
- ②作業床は、**改めて強度計算**を行い安全を確保する。
- ③作業床の製作、設置が完了した時点で、元請が**点検及び安全看板掲示の確認**を行う。
- ④改めて、**作業手順周知会及び安全教育**を行う。



### <あとがき>

冬期は、寒さの影響で体の動きや判断力が鈍りやすく、また準備や後片付けなどメイン作業ではない工種（気の緩みやすい作業）を行う工事が多いことから、非常に事故が起こりやすい季節となっています。令和5年度も残り2ヶ月。無事故無災害で工事・業務が終了するよう、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

